

社会福祉法人 両崖福社会 事業報告

特別養護老人ホーム 清明苑
健康デイサービスセンター けやき
高齢者複合施設 みのりの里・田島
特別養護老人ホーム みどりの丘・大月

【 平成24年度 事業・行事報告 】

— 2013年度 —

RYOUGAI FUKUSHIKAI
社会福祉法人 両崖福社会

平成24年度事業報告書

1. 指定介護老人福祉施設

利用者の希望を尊重し、その人らしく、質の高い満足した生活が送れるよう、毎日笑顔で生活できるように職員の和、部門間の連携を持って支援してまいりました。また安全で安心できる生活環境、心地よい環境を提供すると共に、個別ケアの実践、また外出の機会を多く捉えグループに分けての外出や小旅行も実施することも出来ました。

また、総合的なネットワークサポートにて、健康管理や栄養管理さらには家族支援管理を円滑に行い、迅速かつ的確なサービスが提供できるようにチームケアを推進してまいりました。

2. 地域密着型介護老人福祉施設

一層深まる社会的ニーズとして住み慣れた地域での生活が継続できるよう地域密着型を基本とし、自らの未来を生涯を安心して託せる施設として地域の中で個別的なかかわりを大切に、プライバシーの確保、個別ケアの実践等豊かな生活環境のみでなくその人らしい質の高い生活が送れるようサービスの提供に努めてまいりました。

また、短期入所生活介護を併設し、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活及びプライベートニーズを支援し安心して笑顔あふれる生活の提供に努めております。利用者本人だけでなく家族介護の負担緩和として住み慣れた地域の中での生活ができるよう支援してまいりました。

3. 指定居宅介護支援事業

地域における高齢者が安心・安定した状態でその能力に応じた自立した生活を送ることができるよう地域福祉の拠点として本人及びその家族にとって、できる限りの多様の・潜在的なニーズを迅速かつ的確に掌握し、信用と信頼ある事業者として取り組んでまいりました。利用者本位の希望を尊重した居宅サービスの計画の作成や迅速で円滑なサービスが提供できるよう各関係機関との綿密な連携に努めサービスコーディネーターとしての役割を責務を持って対処してまいりました。

4. 指定居宅サービス事業

利用者が可能な限り、その居宅においての生活をサポートし、利用者及び家族が安心して生活できるよう支援してまいりました。家族介護の負担緩和としてもそのニーズにできる限り対処し、住み慣れた地域での生活ができ、利用者の立場にたった思いやりのあるケアを職員の和を持って努めてまいりました。

5. 地域密着型サービス事業

利用者が住み慣れた地域での生活を継続し、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営む事ができ、かつ家族介護の負担緩和が図れるよう支援してまいりました。また個々の症状にあわせた個別ケアの実践、生きる力への支援にて住み慣れた地域での生活ができる喜びを尊重した対応に努めてまいりました。

6. その他の事業

地域における様々な社会資源であるネットワークシステムを使い、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう公平・中立な機関として援助を行ってまいりました。また配食サービスなど介護保険内では充足しきれない生活支援サポート等生活困窮者や要介護者または家族への総合的な地域福祉の推進の寄与に努め、緊急通報システム、シルバーハウジングの生活援助員の派遣などの委託事業においても、可能な限りその居宅において安心して自立した日常生活が営むことができるよう迅速かつ的確な対応に努めてまいりました。

7. 地域福祉事業

地域の行事に参加する事や地域住民との人間的連帯感を深めることでノーマライゼーションを図り、行事等により一層の施設の開放と活用を図ってまいりました。

・主な地域交流の行事

行 事	入所者	家族	地域・ボランティア
お花見交流会	44名	家族 57名	大正琴フレンズ8名
夏 祭 り	44名	家族 54名	朝倉 EG 八木節クラブ他12団体 92名 地域住民約72名
敬老祝賀会	44名	家族 42名	コール・さざなみ9名 山辺オカリナ会10名
クリスマス会	44名		
こばと幼稚園交流会	44名		足利こばと幼稚園児68名
常念寺保育園交流会	44名		常念寺保育園児28名
合 計	264名	家族153名	17団体215名／地域住民約72名

7. 人材育成事業

社会福祉士、介護福祉士、訪問介護員、管理栄養士等の養成実習を受け入れるにあたって、マンパワーの育成と指導能力の向上にてのサービスの質を高める努力をしてまいりました。

・実習受け入れ状況

学校名	資格	回数	延人数	延日数
佐野短期大学	介護福祉士	2	3	72
中央福祉医療専門学校	介護福祉士	1	1	29
マロニエ医療福祉専門学校	介護福祉士			
足利介護福祉専門学校	介護福祉士	4	6	178
群馬医療福祉大学短期大学	介護福祉士	2	2	66
高崎健康福祉大学	社会福祉士			
清風高校		3	9	3
レオス教育センター	訪問介護員2級			
社会福祉法人県社会福祉協議会	介護等体験教諭			
合 計		12	21	348

指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム清明苑統計資料

平成25年 3月31日現在

1. 入所者年齢状況(定員44床)

年 齡	男	女	計
100歳以上	1	0	1
90～99歳	2	15	17
80～89歳	3	12	15
70～79歳	1	5	6
60～69歳	2	1	3
50～59歳	0	2	2
合 計	9	35	44

2. 平均年齢

全 体	男	女
84.9歳	83.0歳	85.4歳

3. 最低、最高年齢

	男	女
最低年齢	67歳	55歳
最高年齢	102歳	98歳

4. 在所期間状況

15年以上	1
10年以上～15年未満	1
5年以上～10年未満	12
3年以上～5年未満	11
1年以上～3年未満	6
1年未満	13
合 計	44

5. 要介護度状況

自 立	人数
要 支 援	0
要介護 1	1
要介護 2	3
要介護 3	2
要介護 4	15
要介護 5	23
合 計	44
平均要介護度	4.3

6. ADL（日常生活動作）状況

	自立	一部介助	全介助	合計
食 事	9	17	18	44
排 泄	3	15	26	44
着 脱	3	26	15	44
入 浴	0	17	27	44
歩 行	3	13	28	44
認知症数	44			

7. 排泄の状況（おむつ使用）

常 時	25
夜間のみ	7
な し	12
合 計	44

8. 入浴の状況

一般浴	5
リフト浴	16
ベット浴	23
合 計	44

9. 死亡理由

心不全・心筋梗塞	2
脳梗塞・脳内出血	1
肺 炎	6
老 衰	5
ガ ン	0
腎 不 全	1
そ の 他	0
合 計	15

実施状況	<p>1. 入居者の平均要介護度が4.3と高く、要介護4.5の割合が増えている。また、入所者の平均年齢も年々高齢化している。</p> <p>2. 入居者の身体的傾向として、「日常生活動作の著しい低下」「重度認知症の増加」「医療的処置を必要とする方の増加」がある。その為、日常生活で全介助を必要とする入所者が増え、介護職員の身体的・精神的負担も大きくなっている。</p> <p>3. 入居基準が緊急性の高い方から優先して入所となるため、今後も重度化の進行が予想される。また、その為入所してから1年未満に他界される方も多く、入退所の出入りが激しい。</p>
------	--

平成24年度 短期入所生活介護事業報告

1. 月別利用実施状況（定員26床）

月	人 数				日 数				1日平均 利用者数
	介護 保険	介護 予防	身体 障害	合計	介護 保険	介護 予防	身体 障害	合計	
4	57	0	1	58	744	0	4	748	24.9
5	45	1	1	47	702	10	3	715	23.1
6	50	1	1	52	714	11	4	729	24.3
7	55	1	1	57	782	10	3	795	25.6
8	53	2	0	55	751	19	0	770	24.8
9	53	2	0	55	715	13	0	728	24.3
10	52	1	0	53	767	11	0	778	25.1
11	56	1	1	58	740	3	6	749	25.0
12	55	0	1	56	757	0	3	760	24.5
1	50	1	1	52	751	3	3	757	24.4
2	55	1	0	56	700	3	0	703	25.1
3	53	0	0	53	830	0	0	830	26.8
合計	634	11	7	652	8953	83	26	9062	24.8

*人数内訳の介護保険とは、要介護1～5の方
 介護予防とは、要支援1～2の方
 身体障害とは、身体障害者福祉法の対象者

2. 要介護度状況（平成25年3月31日現在）

身体 障害	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
0	0	0	3	9	16	20	5	53

実施状況	<p>1. 平均要介護度3.3。入所と比較すると低めの数値となっているが、軽度から重度の方まで幅広く状態に合わせた個別的なケアが求められている。</p> <p>2. 送迎の時間指定が多く、多方面に渡る。また出入りが非常に多く入浴や荷物のチェック等かなりの時間を要する。個室希望や部屋の指定もあり配置が難しい。</p> <p>3. 重度化、長期化の利用者も多く入所待機者となっている。 （ロングショート15名）</p> <p>4. 最近では、急な施設入所や入院で利用をキャンセルする方も多く、利用の安定化に欠けてきている。</p>
------	--

平成24年度 通所介護事業報告（クワハウス）

1. 月別利用実施状況（定員44名）

月	開所日数	延利用者数	一日平均利用者数
4	30	1,084	36.1
5	31	1,129	36.4
6	30	1,086	36.2
7	31	1,120	36.1
8	31	1,100	35.5
9	30	1,070	35.7
10	31	1,160	37.4
11	30	1,035	34.5
12	30	1,034	34.5
1	28	981	35.0
2	28	987	35.3
3	31	1,104	35.6
合計	361	12,890	35.7

2. 要介護度状況（平成25年度3月31日現在）

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
3	10	25	12	36	24	24	18	152

実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成24年10月より、利用定員を44人としている。 2. 介護保険制度の改定に伴う滞在時間の変更など、平成24年度前半は業務調整に混乱した。現在は、体制が定着している。 3. ターミナル期を迎えた利用者に対して、かかりつけ医と連携をとることでサービス提供を継続するなど在宅ターミナルの一翼を担う事業所となってきた。 4. 送迎時間の指定が通常業務に対して負担となっている。 5. 重度利用者のケアに対して、ベット数や浴槽の問題などハード面での限界が見え始めている。
------	---

平成24年度 通所介護事業報告（けやき）

1. 月別利用実施状況（定員45名）

月	開所日数	延利用者数	一日平均利用者数
4	25	874	35.0
5	27	956	35.4
6	26	953	36.7
7	26	943	36.3
8	27	995	36.9
9	25	966	38.6
10	27	1,072	39.7
11	26	1,006	38.7
12	25	958	38.3
1	24	925	38.5
2	24	910	37.9
3	26	1,035	39.8
合計	308	11,593	37.9

2. 要介護度状況（平成25年度3月31日現在）

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
12	20	39	29	26	9	10	3	148

実施状況	<p>1. 平均要介護度1.3である。</p> <p>2. 最高年齢男97歳、女94歳、最低年齢男60歳、女63歳、平均年齢は81.7である。</p> <p>3. 8月より定員が45名に増え、送迎に時間を要している。また歩行器や車椅子を使用する方も増え、利用者のスペースが十分に確保できていない。</p> <p>4. 8月より足湯が開始。楽しみにしている利用者も多い。自立支援に向けた取り組みの一つとして、足湯の準備・片付けも自身で行って頂いている。</p>
------	---

平成24年度 認知症対応型通所介護事業報告（かがやき）

1. 月別利用実施状況（定員12名）

月	開所日数	延利用者数	一日平均利用者数
4	25	249	10.1
5	27	257	9.5
6	26	270	10.4
7	26	271	10.4
8	27	243	9.0
9	25	249	10.0
10	27	284	10.5
11	26	276	10.6
12	25	262	10.5
1	24	240	10.0
2	24	255	10.6
3	26	263	10.1
合計	308	3,119	10.1

2. 要介護度状況（平成25年度3月31日現在）

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0	0	10	6	6	6	4	2	28

実施状況	<p>1. 定員12名の中、平均10.1名（稼働率84%）の利用者にサービスを提供している。上半期はショート利用や入院等により利用率の低下があるも、下半期より新規利用者も増え、12月より理学療法士による機能訓練も開始し前年より平均利用率の増加につながった。</p> <p>2. 外出レクの実施や梅干し、おはぎ等の手作り体験を通して季節感や昔を振り返る機会を設けている。楽しみながらこうした回想法を実施することで、脳と体の活性化につながっている。</p> <p>3. 少人数対応にて、その人にあった寄り添う介護の実施ができています。</p>
------	---

平成24年度 訪問介護事業報告

1. ホームヘルパー派遣状況

月	派遣回数	実人員	生活援助	身体介護	複 合	介護予防	平均回数
4	692	55	103	326	125	138	23.0
5	763	54	98	361	171	133	24.6
6	758	56	99	364	158	137	25.2
7	735	56	104	337	149	145	23.7
8	724	54	106	378	108	132	23.3
9	717	58	126	336	127	128	23.9
10	946	64	116	516	157	157	30.5
11	925	62	119	503	163	140	30.8
12	934	61	142	493	144	155	30.1
1	879	61	129	428	191	131	28.3
2	852	61	112	392	226	122	30.4
3	907	59	148	412	212	135	29.2
合計	9,832	701	1,402	4,846	1,931	1,653	26.9

2. 要介護度状況 (平成25年度3月31日現在)

自 立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
	4	15	6	16	6	8	4	59

実施状況	<p>1. インフルエンザの流行で、独居の方の対応が増え、サービス利用が増加（10月～12月）したが、現在は通常に戻ってきている。</p> <p>2. 重度の利用者や認知症の利用者に対する在宅での介護に家族の身体的、精神的な負担が大きくショートステイや施設入所等の利用が増えてきている。</p> <p>3. 一時的な体調の変化により、集中的に訪問に入るが、回復すると全ての訪問が中止となり安定しない。</p>
------	--

平成24年度 訪問入浴介護事業報告

1. 月別利用実施状況

月	運営実日数	延利用者数	一日平均利用者数
4	4	8	2.0
5	5	10	2.0
6	4	7	1.8
7	7	12	1.7
8	6	10	1.7
9	6	10	1.7
10	5	6	1.2
11	4	5	1.3
12	4	5	1.3
1	4	4	1.0
2	4	4	1.0
3	4	4	1.0
合計	57	85	1.5

2. 要介護度状況 (平成25年3月31日現在)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
					1		1

実施状況	<p>1. 職員がデイサービスとの兼務となっており、運営できる曜日時間が限られてしまうため、事業の拡大が難しい。</p> <p>2. 重度化に伴い、在宅での入浴が困難となっているが、住み慣れた自宅での入浴の実現。</p> <p>3. 実施曜日は限られているが、ご利用者の体の清潔を保持することで様々な病気（床ずれ、皮膚病等）の早期発見に繋がっている。</p>
------	---

平成24年度 居宅介護支援事業報告

1. 月別給付管理状況

月	介護給付管理	予防給付管理	合計
4	265	57	322
5	254	58	312
6	260	60	320
7	263	60	323
8	266	62	328
9	268	61	329
10	268	58	326
11	269	58	327
12	265	56	321
1	263	61	324
2	263	58	321
3	266	62	328
合計	3,170	711	3,881
平均	264.2	59.3	323.4

再請求、月遅れ請求者は含まない。

2. 要介護度状況 (平成25年3月31日現在)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
17	55	52	87	44	52	50	357

実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 常勤換算にて介護支援専門員を7.75人配置している状況である。 2. 病院からの退院ケースの依頼増加。(特に末期ガンの方のケースが目立った) 3. 60代の身体障害者から介護保険への認定変更ケースがあった。 4. 地域包括支援センターからの依頼のケースが多かった。 5. 家族、キーパーソンの方が遠方の方、連絡の取りにくい方、独居、老々世帯の利用者が増加傾向。 6. 短期入所のサービスを長期にまた回数を多く、特に土、日希望されるケースが増加している。 7. 要介護の低い方で高齢者専用住宅に、入居される方のケース担当が増加している。 8. 息子と二人暮らしのケースが増えてきた。
------	--

平成24年度 居宅介護支援けやき事業報告

1. 月別給付管理状況

月	介護給付管理	予防給付管理	合計
4			
5			
6			
7			
8	35	32	67
9	38	31	69
10	42	30	72
11	43	30	73
12	43	29	72
1	42	32	74
2	43	30	73
3	40	33	73
合計	325	247	572
平均	40.6	30.9	71.5

2. 性別内訳数 (平成25年度3月度)

性別	男	女	合計
人数	17	56	73

3. 要介護度状況 (平成24年度10月度)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
12	21	16	17	4	2	1	73

実施状況	<p>1. 居宅介護支援清明苑の特定事業所加算の安定を図るため、8月から事業所を開始し、常勤換算にて介護支援専門員を1.5人配置している状況。</p> <p>2. 軽度の要介護の利用者と要支援の利用者を担当し、給付管理件数を安定して保持している。</p> <p>3. 在宅生活を支える医療機関や地域包括支援センター等関連機関と連携体制を強化し、地域で信頼される事業者所の運営に努めている。</p>
------	--

平成24年度 高齢者複合施設 みのりの里・田島

(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

(平成25年 3月31日現在)

1. 入所者年齢別状況

年 齢	男	女	合 計
90～99歳		4	4
80～89歳		4	4
70～79歳	1	1	2
60～69歳			
合計	1	9	10

	男	女
平均年齢	73	86.7
最高年齢	73	94
最低年齢		71

2. 要介護度別状況

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男					1	1
女		2	2	3	2	9
合計		2	2	3	3	10
平均	3.7					

3. 入退所状況 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	入所													
	退所													
女	入所										1		1	2
	退所										1		1	2

4. 入所理由

独居困難	心身悪化	介護者疾病	その他
1		1	

5. 退所理由

死亡	在宅復帰	契約解除	その他
2			

6. ADL (日常生活動作) 状況

食事			排泄			入浴			移動			認知		
自立	一部 介助	全部 介助	自立	一部 介助	全部 介助	自立	一部 介助	全部 介助	自立	一部 介助	全部 介助	自・I	Ⅱ・Ⅲ	Ⅳ・M
4	4	2	2	4	4		3	7	1	4	5	3	1	6

実施状況	<p>1. 開所以来、入所者の変動が少ない状況が続いていたが、その分、重度化が進み、2名が老衰による死亡の退所者がでた。 (いずれも施設内でのターミナルケアにて対応)</p> <p>2. 認知症の重度化も進み、認知症ランクⅢ以上が65%以上のため日常継続支援加算の対象となっている。</p> <p>3. 個々の24時間のデーターをもとに個別対応を心がけている。</p>
------	--

平成24年度 みのりの里・田島 運営状況

(地域密着型小規模多機能型居宅介護)

1. 利用状況

月	登録人員 (月末)	通い (定員15名)	泊まり (定員8名)	訪問 (実人数)	一日平均 通い人数	一日平均 泊り人数	平均 要介護度
4	25	367	192	50	12.2	6.4	2.3
5	25	382	192	49	12.3	6.2	2.2
6	25	373	185	47	12.4	6.2	2.2
7	25	401	193	48	12.9	6.2	2.1
8	25	379	178	48	12.2	5.7	2.1
9	25	381	207	49	12.7	6.9	2.1
10	24	390	220	49	12.6	7.1	2.2
11	25	385	233	55	12.8	7.8	2.1
12	25	391	237	51	12.6	7.6	2.1
1	25	381	232	52	12.3	7.5	2.1
2	24	344	195	44	12.3	7.0	2.1
3	25	393	215	50	12.7	6.9	2.0
合計	298	4,567	2,479	592	12.5	6.8	2.1

2. 要介護度状況 (平成25年 3月31日現在)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
	3	9	5	4	3	1	25

3. 利用者の状況 (平成25年 3月度)

独居世帯	高齢者世帯	家族と同居世帯	合計
3	2	20	25

実施状況	<p>1. 平成23年度が入居施設などへの異動の多い年であったが、その重度者の異動にて宿泊利用者が整理され、平成24年度は安定した登録者の確保と運営ができた。</p> <p>2. 利用の希望者も増え待機者確保ができ、登録人員が欠員のまま滞りこともなく即時、受け入れにて安定した運営ができた。</p> <p>3. 認知症利用者が9割を占め、ハードとソフトのケアを効果的に展開。重度の認知症でも行動障害が軽減している。</p>
------	---

平成24年度 高齢者複合施設 みのりの里・田島
(短期入所生活介護)

1. 月別利用実施状況

月	人 数				日 数				1日平均 利用者数
	介護 給付	予防 給付	身体 障害	合計	介護 給付	予防 給付	身体 障害	合計	
4	26	2		28	302	7		309	10.3
5	21	3	1	25	260	8	3	271	8.7
6	21		1	22	270		3	273	9.1
7	21	1	1	23	301	3	4	308	9.9
8	23		1	24	309		3	312	10.1
9	23		1	24	297		4	301	10.0
10	27		1	28	302		4	306	9.9
11	25	2	1	28	251	15	4	270	9.0
12	26	6	1	33	217	38	4	259	8.4
1	27	1	1	29	289	12	4	305	9.8
2	23		1	24	255		4	259	9.3
3	28	1	1	30	282	2	4	288	9.3
合計	291	16	11	318	3,335	85	41	3,461	9.5

2. 要介護度状況(平成25年3月度)

項目	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数		3	9	5	4	3	1	25
全体平均(要支援を除く)	2.1							

実施状況	<p>1. 利用者の約1/2は、長期滞在型の意向を持ちサービスを利用されている。</p> <p>2. リピーターだけでなく、他機関からの新規利用者の希望が増え、希望日程の受け入れが難しく調整に難航することが多くなってきている。</p> <p>3. ユニットケアとして、個々の習慣の尊重と外出などのプライベートニーズを対応している。</p>
------	---

平成24年度 特別養護老人ホーム みどりの丘・大月

(平成25年3月31日現在)

1. 入所者年齢別状況

年齢	男性	女性	合計
100歳以上	0	0	0
90歳～99歳	2	16	18
80歳～89歳	2	8	10
70歳～79歳	0	0	0
60歳～69歳	0	0	0
60歳以下	1	0	1
合計	5	24	29

	男性	女性
最高年齢	92歳	98歳
最低年齢	54歳	86歳
平均年齢	80.6歳	91.6歳
全体平均	89.7歳	

2. 要介護度状況

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	1	1	1	2	5
女性	0	0	7	11	6	24
平均	3.9					

3. 入所状況 (平成24年度4月1日～平成25年3月31日まで)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	入所	3	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6
	退所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
女	入所	26	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	28
	退所	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4

4. 入所理由

(平成24年11月1日～平成25年3月31日の期間)

独居困難	心身悪化	介護者疾病	その他
1	0	0	1

5. 退所理由

(平成24年11月1日～平成25年3月31日の期間)

死亡	在宅復帰	契約解除	その他
1	0	0	0

6. ADL

食事			排泄			入浴			移動		
自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
10	12	7	1	13	15	0	14	15	5	11	13

実施状況	<p>1. 開所して1年が経過し、平均要介護度も0.2上昇し、平均年齢も89.7歳と高く、施設内での要介護の重度化と高齢化率が進んでいる。また、それに伴いADLも低下傾向にあり、職員の負担も大きくなっている。</p> <p>2. 11月以降は、入退所等は無く、入居者の「生活面」・「健康面」共に安定されている。</p>
------	---

平成24年度 特別養護老人ホーム みどりの丘・大月
(短期入所生活介護)

1. 月別利用実施状況

月	人数				日数				1日平均 利用者人数
	介護給付	予防給付	自立	合計	介護給付	予防給付	自立	合計	
4	20	1	0	21	219	3	0	222	7.4
5	24	2	0	26	227	15	0	242	7.8
6	23	4	0	27	197	20	0	217	7.2
7	18	5	1	24	239	30	2	271	8.7
8	23	3	0	26	260	12	0	272	8.7
9	22	4	1	27	228	15	5	248	8.2
10	27	6	0	33	276	22	0	298	9.6
11	25	4	0	29	266	12	0	278	9.2
12	20	5	1	26	260	17	6	283	9.1
1	22	3	0	25	275	9	0	284	9.1
2	21	4	0	25	259	12	0	271	9.6
3	23	2	0	25	265	6	0	271	8.7
合計	268	43	3	314	2,971	173	13	3,157	8.6

*人数の内訳の介護保険とは、介護保険法の対象者（要介護認定者）
介護予防とは、介護保険法の非該当（要支援認定者）

2. 要介護度状況(平成25年3月度)

項目	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数		2	0	9	3	6	5	25
全体平均(要支援を除く)	3.3							

実施状況	<p>1. 固定利用の利用者数も増え、月平均利用率も9割を超えている。</p> <p>2. 自立から重度の方まで、幅広い利用ニーズがあるため、日々の生活支援が複雑化している。</p>
------	---

平成24年度 地域包括支援センター事業報告

1. 月別給付管理状況

月	直営予防給付管理	委託予防給付管理	合計
4	83	148	231
5	88	146	234
6	93	148	241
7	94	143	237
8	95	140	235
9	97	147	244
10	103	148	251
11	104	152	256
12	104	153	257
1	100	152	252
2	100	143	243
3	101	154	255
合計	1,162	1,774	2,936
平均	96.8	147.8	244.6

2. 相談方法 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区分	電話	訪問	来所
件数	278	117	101

3. 相談内容 (平成24年4月1日～平成25年 3月31日)

区分	介護保険・福祉サービスに関する事	権利擁護(成年後見人制度)に関する事	高齢者虐待に関する事
件数	430	10	6

実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員が中心となって、専門分野を生かしながらチームとして地域の高齢者支援を行っている。 2. 相生、助戸、千歳、北郷、名草各地区で民生委員と地区社協、介護支援専門員との高齢者支援連携協力会議を開催し総合相談の窓口としてネットワークづくりを行っている。 3. 高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐことができるように、生活機能の低下を早期に発見し、予防・改善に努めできる限り在宅で自立した生活が継続できるように支援している。 4. 足利市内で唯一「認知症地域支援推進員」が配置されている。認知症を正しく理解し支援するサポーターを多数養成して地域のネットワークづくりを行っている。
------	---

平成24年度 シルバーハウジングLSA派遣事業報告

1. 入居世帯

単身世帯	夫婦世帯	合 計
27	3	30

2. 性別状況

男	女	合 計
9	23	32

3. 年 齢

最高年齢	最低年齢	平均年齢
91	61	80.8

4. 入居期間

入 居 期 間	合 計
5年以上 ～	24
4年以上 ～ 5年未満	
3年以上 ～ 4年未満	2
2年以上 ～ 3年未満	2
1年以上 ～ 2年未満	1
1年未満	1
合 計	30

5. 緊急通報

月	火 災	ガ ス	水 道	緊急通報	誤 報	合 計
4			1			1
5			2		2	4
6			2		1	3
7			1	1	1	3
8			4		2	6
9			2			2
10			3			3
11			4		1	5
12			1		1	2
1			3	1	2	6
2			2		1	3
3					1	1
合 計			25	2	12	39

実施状況	<p>1. 高齢に伴う要介護状態（要介護度認定者5名、介護予防支援者4名）になられる方も多くなり、在宅サービス利用者が増えている。</p> <p>2. 緊急通報の他に、本人からの電話やヘルパーからの通報、救急車要請回数が増加傾向にある。</p>
------	--

Ryogai Fukusikai
Seimeien